



垂水市議会議長  
池山 節夫

# 新年のごあいさつ

Assembly 議会

## 活力溢れる議会を目指して

謹んで新年のお慶びを申し上げます。市民の皆様には、穏やかに、あるいはご家族で賑やかな新年をお迎えのことと思っております。

昨年を振り返りますと、7月に九州北部において豪雨災害が発生し、38名の方がお亡くなりになり、被害額も1400億円を超えております。この被害では、流木による河川の氾濫など、自然の驚異を見せられ、本市における森林や河川への対策の必要性を感じました。

一方、桜島の大規模噴火に備え、自分の生命、財産と安全は自分で守ることを念頭に、市民の皆様には冷静な対応をお願いしたいと思っております。

本市においては、住みなれた地域で自分らしい生活ができるよう、4月1日に地域包括ケアセンターが開設されました。10月1日には、垂水中央運動公園陸上競技場が多目的利用型施設「たるみずスポーツランド」とし

てリニューアルオープンし、グラウンドゴルフやサッカーなど市内外の方々にご利用いただき皆様の健康増進に寄与するものと思っております。

私ども市議会におきましては、昨年から新体制のもとで議会活動にまい進しております。具体的には、国道整備促進特別委員会では、九州地方整備局や国土交通省に対し、国道220号の整備や大隅横断道路の早期実現「南の拠点」の道の駅事業について要望を行いました。

また、本市議会は、現在まで女性議員が在籍したことがない全国でも数少ない市議会です。地方議会においては議員を志す若い世代の挑戦が少ないことから、同僚議員はじめ執行部の協力を得ながら一人でも多くの若い人が挑みたいと思える環境を整えたいと思っております。

さて、本年は明治維新150年、そして何より垂水市市制施行60周年という記念すべき年で

あります。この市制60周年を記念してさまざまなイベントが開催されることになると思われます。その際は、市民の皆様とともにお祝いできるものと考えております。

また、新しい観光や商業の拠点として、「南の拠点」が浜平地区にオープンする予定です。道の駅、森の駅、そしてこの南の拠点を基盤とした交流人口の増加が期待されます。

今後とも市政の主人公である市民の皆様にとって「住んで良かった」と思えるまちづくりを実現すべく、首長とともに二元代表制の一翼を担う議会の役割は、今後ますます重要になると考えております。引き続き、皆様の声を市政に反映させる重要な責務を果たして行く所存でございます。

皆様がこの一年が素晴らしく実り多き年でありませうと祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。



垂水市長  
尾脇 雅弥

行政 Administration

## 市政60周年を喜び合う年に

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますとオリピックメダリスト太田雄貴選手の新春講演会でスタートいたしました。2年後の国体では本市がフェンシング会場となります事から、実践を交え自らの貴重な体験談をお話し下さいました。「明確な目標を掲げ、強い信念と情熱を持つ事が大切」とのコメントに共感する想いでした。

春には、住み慣れた家や地域で暮らし続けるための支援を行う「垂水市地域包括ケアセンター」がオープンしました。また、鹿児島大学病院副院長大石教授に「垂水市スーパージョー」にご就任いただき、健康長寿子育て支援に関する協定を結びました。健康長寿の一つの事業として「たるみず元氣プロジェクト」が、中央・終原・牛根の3会場で5日間にわたり実施さ

れました。市内在住の65歳以上の方を対象に健康状態・生活習慣に関する健康チェックが行われ、94%の方々に「大変良かった。また来年も参加したい」との回答をいただいた事は、今後に繋がるスタートができたと感じました。今後、全国のモデルケースとなる事業の取組がスタートできた事は大きな喜びでした。

夏には、「和牛の五輪」と呼ばれる「第11回全国和牛能力共進会」が宮城県で開催され、本市からも出品し、総合優勝となりました。和牛日本一に輝いた事は大変嬉しいニュースであり、水産業や農畜産業の宝を有する本市にとって、6次産業化へ弾みのつく明るい話題でした。

秋には、「たるみずスポーツランド」がオープンし、天然芝のグラウンドでグラウンドゴルフ・サッカー・少年ソフトボール大会等で賑わいました。ソフトボール大会では、これまでの倍の8面で一斉にできる等、活用が広

がりました。今後、市民の皆様の健康増進や交流の場としてご利用いただきたいと思っております。

昨年は台風等の影響もなく、垂水千本イチョウが例年以上に黄金色に輝き、多くの観光客が訪れ、市内の飲食店・温泉施設も大盛況でした。

さて、今年はい「戊戌年」であり、勤勉・努力で大きな成果を成す年と言われます。本年は垂水市市制施行60周年を迎え、明治維新150年、NHK「西郷どん」の放映等、活動的で元氣の出る年になると思っています。私自身、市民の皆様方に支えられます事に感謝申し上げ、初心を忘れる事なく、「垂水市の発展」と「市民の幸福」のために努力を重ね、市政運営に努めていく覚悟を持ち、皆様と喜びを更に共有できる年にしたいと考えております。

結びに、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となります事心から祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。